

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、芳川圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和5年6月29日（木）9時半から11時まで
参加者	委員：14人 事務局：5人 その他：6人（市役所・区役所・地域包括支援センター）
場所	南区役所 大会議室
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 芳川圏域生活支援体制づくり協議体 会長</p> <p>3. 新任委員の紹介 新任の委員、新任の関係機関職員の紹介をした。</p> <p>4. 協議事項</p> <p>①これまでの振り返り 前任の生活支援コーディネーターより、昨年度の振り返りをした。</p> <p>②これからの方向性について ・安否確認の要請状況から見えてくること 地域包括支援センター芳川より、今年包括芳川への安否確認の要請が17件（芳川11件、五島4件、河輪2件）来ており、そのうち4件については安否確認をした際すでに亡くなっていたことを共有した。芳川地区では買い物に課題がある高齢者も多いことから、「買い物支援」を行いながら自然なかたちでの見守りを推進していくことが提案された。</p> <p>③【情報提供】 ・はままつあんしんネットワークについて 浜松市役所 高齢者福祉課より、高齢者をさりげなく、緩やかに見守る仕組みである「はままつあんしんネットワーク」の仕組みや参加協力団体・事業者、通報状況について情報共有をした。 また、地域包括支援センター芳川より、「はままつあんしんネットワーク」の参加協力団体・事業者から相談が寄せられた具体的な事例、対応について情報共有をした。</p> <p>・移動スーパーを活用した買い物支援について 前任生活支援コーディネーターより、他地区の事例を挙げながら移動スーパーを活用した買い物支援の取り組みや流れについて情報共有をした。</p> <p>④【意見交換】</p>

地区ごとに分かれて、意見交換をした。

4. 次回の協議体会議について

日時：11月10日（金）9：30～11：00

会場：南区役所 大会議室

5. 連絡事項

〈地域包括支援センター芳川より〉

①事業所移転

南区石原町 739 番地→749 番地（特別養護老人ホーム いしはらの里 1 階）

②「介護保険や社会資源について勉強してみよう！～移動スーパーや地域のサロン等紹介～」

主催：地域包括支援センター芳川

日時：令和5年8月19日（土）9：30～11：30

会場：遠州浜中央公民館

6. 閉会 芳川圏域生活支援体制づくり協議体 副会長

〈芳川地区グループワーク内容〉

■見守り（安否確認）について

- ・民生委員の活動…その時期にあったチラシ（夏なら熱中症についてなど）を持参し、気になる人のところへは友愛訪問をしている。話せる人=おなじみさんはいいが、いつも不在だったり、話ができなかったりする人をどれだけ引き出していくかが重要ではないか？
- ・外出する仕掛けが欲しい。

■買い物について

- ・買い物について困っている人が増えている（車持っていない人など）。
- ・周囲の人が助けるばかりではなく、家族になんとか協力できないだろうか？近くに家族が住んでいる場合もある。家族間のコミュニケーションをとって欲しいと思う。
- ・店が近くにあるにも関わらず、困っている人多い。子どもが近くにいても、高齢者側が遠慮して家族に頼まない方もいる。逆に子ども世帯も自分達の家庭のことで精一杯なので支援できない家庭もあると思う。
- ・昔は魚屋、クリーニング屋など自宅まで売りにきた。昔方式に戻せば問題ないのではないか？
- ・今は配達料をとるから頼みづらいのではないか？←いくら以上は配達料無料になるなど工夫しているところはある。

- ・買い物をする＝自分で商品を選ぶことが楽しみ、行った先で久しぶりに会った人と喋るなどの出会いがある、歩くことで健康になるなど、色々な副産物があると思う。買い物支援自体に反対ではないが、本来なら歩ける人が移動スーパーを頼むことで外出しなくなったり、歩かなくなったりして認知機能・歩行機能の低下などの影響はないか？
- ・自分で買い物に行ける人は行く、行けない人は移動スーパーを頼むなど選択肢があることはいいことだと思う。
- ・買い物に困るという事＝ゴミ出しも同じく困っていると思う。生活すればゴミが出るのは当たり前なので、ゴミ出しについても検討しなければいけない事例ではないか？
⇒芳川地区社協 家事支援部ではゴミ出しは 100 円/回でやっている。分別できていない人もいたので、分別込みのゴミ出しは 200 円/回。何もかもを支援に頼るのではなく、地域力を上げることが必要ではないか？向かいのおばあちゃんがあるけなくなってきたのに気づいたら、自分がゴミ出しをする時に一言声かけをして一緒に出してあげればいいと思う。

〈河輪地区グループワーク内容〉

■安否確認

- ・サロンで不参加者→家に確認に行く。
- ・民生委員がまわってくれている。
- ・隣保で助け合いもあったが、依存されてしまうこともあった。
- ・敬老会、避難者の確認で自治会長が把握している。
- ・西町→黄色いハンカチ運動。
- ・回覧板回ってこない→安否確認を必要と判断することができる。過去に事例も。

■移動スーパー

- ・サロンで情報を得て、すでに利用している方がいる。時々見に行くと楽しんでいる。
- ・杏林堂の移動スーパーが5年前くらいから始まっていた。
来るのは一日2～3名くらいで、買う人が少なく採算が取れない。いつの間にか来なくなった。ちょっとトラウマになっている。
- サロンなどに合わせてやればいいのかも
- ・自治会ではテーマになったことはない、これから必要なら検討することも。
- ・近くに歩いてスーパーに行けない人多い、移動スーパー必要かもしれない。
- ・買い手と売り手のバランス大事、マッチングが上手くいかないと長続きしない。
- ・いつも使っているものが買えないと意味がない。
- 予めリクエストすれば持ってきてくれることが多い。

■その他

- ・6月の台風時に河輪小を緊急避難先にしたが人が来なかった。

- ・サロン活動や民生委員活動が活発なうちに安否確認も移動スーパー準備しておくといいかもしれない。
- ・個別配達エリアが増えるという情報有り、移動スーパー以外の資源も増えるかもしれない。

〈五島地区グループワーク報告〉

■五島地区の買い物について

- ・遠州浜地区の住民はバスで遠鉄ストアに買い物に行っている。長くバスで遠鉄ストアに行っている人の中でバスの席が決まっていて、新しい人がその席に座ってしまい嫌な思いをすることがある。
- ・以前、自治会と連携して公民館で衣料品が売られていた⇒集いの場として良かった。
- ・遠州浜6・7の間に杏林堂の移動スーパーが来ているが、4丁目から買い物に来る高齢者もいる（遠州浜1丁目、4丁目に高齢者多い）。
- ・買い物できる場所。

旧五島：遠鉄ストア立野店、杏林堂芳川店、コープ、コンビニ2店

遠州浜：コンビニ

→まず店舗少ない、車をもっていない高齢者も多い、コンビニでは買うことのできる種類限られる、重い物買うことができない。

- ・ペットの餌を買うために雨の中歩いて買い物に行く高齢者もいる。

■移動スーパーについて

- ・五島は自治会が10地区ある、移動スーパーがぐるっと10地区を周ってくれたら理想。
- ・遠州浜団地では移動スーパー専用駐車場があったり、自分の住んでいる建物の下まで来てくれたりすると嬉しいと思う。
- ・移動スーパーの拠点として公民館も利用できるのでは？
- ・事前注文を受けてくれたら使いやすい。
- ・遠鉄ストアまで行くバスのバス停まで行くのが辛い高齢者もいる。そのような人にとって移動スーパー良いと思う。
- ・夏の生鮮食品はどう管理がされているのか？
- ・知っている人しか使うことができないという課題がある、まず知ってもらうことが重要。

■見守り支援

- ・見守り支援もニーズがある。
- ・移動スーパーを居場所として組み合わせることは良いかもしれない。

→移動スーパーが来る30分前くらいに、移動スーパーの拠点に住民が集まってコミュニケーションをとることができたらいいのではないかな。

今後の見通し等	移動スーパーを活用した買い物支援について、遠州浜地域ケア会議でも取り上げ、モデル的に五島地区から展開していくかなど協議する。
---------	--